



## 3月、ひと足早い春を探して

3月の声を聞くと春を感じるものですが、雪国札幌はまだ春が来たとはいえません。しかし、そんな中にも春近しを感じさせるものはあります。

### ★最初のふきのとう

旭山都市環境林には冬でも凍らない「赤い池」があります。「赤い池」では、早い年であれば2月中にその年最初のふきのとうが顔を出します。スノーシューでふきのとうを見に行くのも旭山の年中行事です。



### ★アカゲラのけんか

アカゲラは3月につがいの相手を見つけます。この時期、後頭部の赤い雄どうしが「キャッキャッ」などと鳴きながらけんかをしているのを目にすることがあります。3月下旬から4月につがいの相手が決まると、雄と雌が交互にドラミングして愛の交換をします。



### ★雪の上の昆虫

3月、雪の上ではセツケイカワゲラ(写真右上)やユスリカ(同右下)が見られます。ただしそれらの昆虫は春までに活動を終えて見られなくなるのが春先の蝶との違いです。



### ★イタヤカエデの樹液

樹木は春先に勢いよく水分を吸い上げますが、特にその量が多いイタヤカエデの樹液はほのかに甘く、煮詰めると「メープルシロップ」になります。

森の家では札幌市の許可を得て毎年イタヤカエデの樹液を採取しています。

※採取では木に穴をあけますが木に大きなダメージはなく何年か経つと穴がふさがります。



### ★春先の蝶

タテハチョウ科のエルタテハやクジャクチョウ(写真)は成虫で越冬し、春先早ければ3月に目覚めて活動を始めます。

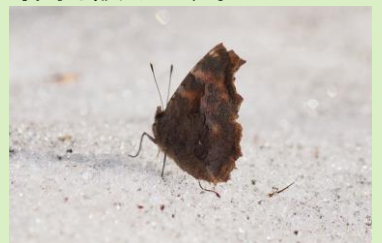
まだ残る雪の上で見る蝶の姿にははっとさせられます。



## 旭山に春の訪れを感じる春のイベント3題

- 「旭山野鳥観察会」直近が3月10日(土)、その次4月14日(土)開催となっています。  
朝8時 参加費 100円(保険代として)、双眼鏡無料貸出、小雨小雪決行です。
  - 「ネイチャーカフェ 旭山 野鳥の四季」3月21日(水・祝) 14時~15時45分  
旭山で見られる野鳥を季節を追いながら話してゆきます。野外での野鳥観察の時間も設けます。  
参加費 500円、コーヒーもしくは紅茶とお菓子がついています。
  - 「スノーシュー自然観察会」3月25日(日) 10時~12時  
雪の中のふきのとうを見に行きます。  
参加費 100円、スノーシューと双眼鏡無料貸出、小雨小雪決行です。
- ※いずれのイベントも「森の家」集合、事前予約等「森の家」までご連絡ください。  
みなさまのご参加をお待ちしております！

雪の上のエルタテハ(蝶)



## 2018年2月から3月の旭山野鳥情報

### ★シマエナガ情報

2月以降は10羽以上の群れで見られることがめっきり少なくなりました。  
一方でつがいと思われる2羽でいるところはまだよく見られます。  
イタヤカエデが樹液を勢いよく吸い上げ始め、樹液にも寄って来る時期です。  
※旭山のシマエナガが2/23(金)STV「どさんこワイド 212」で紹介されました。

### ◎冬に見られる鳥

- ★ツグミ=2月下旬に亜種ハチジョウツグミが園内で観察されました。  
亜種ハチジョウツグミはこれで3年連続記録されています。
- ★イスカ=2月中旬から何度か観察されていますがみな1日のみの記録です。
- ★キクイタダキ=2月もよく見られ、3月に入ってもまだ風の丘下、つり橋周辺、展望台の松で見られる機会が多いと思われます。
- ★カケス:「フィー」「ピョッピョッ」などと他の鳥の鳴き真似を時々しています。
- ★シメ:駐車場周辺で数羽が比較的良好に見られます。
- ★キバシリ=旭山都市環境林では見られますが園内では少ないです。
- ★ウソ=園内で声はよく聞かれており、春先は近くでの観察機会が増えます。
- ★マヒワ=数羽の群れが比較的良好に見られます。
- ★ヒレンジャク=2月下旬久し振りに旭山で情報がありません。
- ★オジロワシ=2月中旬旭山上空に現れました。冬に時々見られます。

### ◎1年中見られる鳥

- ★ノスリ=3月上旬久し振りに園内での目撃情報があり、まだいるようです。
- ★クマガラ=毎日ではないですが園内での観察情報があります。
- ★オオアカゲラ=2月も引き続き園内で多く観察されていました。
- ★アカゲラ=ドラミングを始めておりそろそろ雄同士のケンカも始まる頃です。
- ★コゲラ=「ギョーッ」という声がよく聞かれ姿も見られます。
- ★ハシブトガラ=「ピーピーピー」と囀りをしています。
- ★ヤマガラ=「チーリーツー」と3拍子の囀りをします。
- ★ヒガラ=「ツピツーツピツ」と囀りをしています。
- ★シジュウカラ=2月中旬から囀りを始めました。
- ★ゴジュウカラ=「フィーフィー」「フィッフィッ」と囀りをしています。
- ★ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス=よく見られます。



↑上:カケス(亜種ミヤマカケス) ↓下:キクイタダキ



## エゾリスの糞を見たことがない

エゾリス、旭山記念公園では見ない日は珍しいというくらいにきわめてよく目にします。

しかし、ふと気づきました、エゾリスの糞というものを見たことがない。

キタキツネ、テン、エゾシカ、ヒグマ(他の場所)それにエゾリスと同じネズミ目のモモンガの糞は見たことがありますが、なぜかエゾリスだけはない。

まさか糞をしないはずはない、本やネットで調べると、小指の先ほどの大きさで茶褐色か灰褐色の小石のような糞をすることが分かりました。

一見すると動物の糞のように見えませんが、もしかして見てはいてもエゾリスの糞とは認識していなかった可能性もありそうです。

さて、糞とはいえ、一度気になり出すと見たいと思うのが困りもの...



### 編集 後記

毎年のこと、春が近づくと毎年困ったことに直面します。

花の名前を思い出せない、この花は何科だったっけ、等々。

ナニワズはジンチョウゲ科

花が咲かない長い冬の間、名前を忘れてしまうものがあるのです。

毎秋、来年こそはそうならないよう冬の間も勉強しようと思うのですが...



公式サイト

「アカゲラ通信」 第51号 2018(平成30)年3月9日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時)FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>